

平成23年5月20日現在

研究種目：特定領域研究

研究期間：2005～2009

課題番号：17083025

研究課題名（和文） 11～16世紀の東アジア海域と寧波―博多関係

研究課題名（英文） East Asian Maritime Region and Ningbo-Hakata Relations from 11<sup>th</sup> to 16<sup>th</sup> centuries

研究代表者

中島 楽章 (NAKAJIMA YOSHIAKI)

九州大学・人文科学研究院・准教授

研究者番号：10332850

研究成果の概要（和文）：

本年度は、5年間にわたる計画研究において進めてきた作業にもとづき、その研究成果の一部として、昨年度まで榎本渉氏を中心に行ってきた、日宋・日元間渡航僧に関する伝記史料の網羅的な調査・収集・整理の結果にもとづき、『日宋・日元間渡航僧伝記一覧』を編集し刊行した。また同時に、沈玉慧氏らの協力で行ってきた、日明関係史に関する研究文献の調査収集作業に基づき、『日明関係研究文献目録』を編集し刊行した。このほか、2010年8月28日の宋代史研究会シンポジウムにおいて、本特定領域の成果と課題について報告を行った。上記の活動のために、印刷費・物品費・旅費などを支出した。

研究成果の概要（英文）：

Compilation and publication of *The List of Bibliographies of Japanese Buddhist Monks Who Visited Song-Yuan China* and *The Bibliographies of Books and Articles on Ming-Japan Relations*

交付決定額

(金額単位：円)

|        | 直接経費       | 間接経費 | 合計         |
|--------|------------|------|------------|
| 2005年度 | 3,600,000  | 0    | 3,600,000  |
| 2006年度 | 5,400,000  | 0    | 5,400,000  |
| 2007年度 | 5,400,000  | 0    | 5,400,000  |
| 2008年度 | 5,400,000  | 0    | 5,400,000  |
| 2009年度 | 5,400,000  | 0    | 5,400,000  |
| 総計     | 25,200,000 | 0    | 25,200,000 |

研究分野：東洋史

科研費の分科・細目：史学・史学一般

キーワード：東洋史 日本史 考古学 寧波 博多

## 様式 C-19

# 科学研究費補助金研究成果報告書

### 1. 研究開始当初の背景

本研究は、11～16世紀を通じて日中交流のメインルートであった、寧波―博多間における海上交流を、中国史・日本史・考古学の研究者による専門領域を超えた共同研究によって総合的に考察し、東アジア海域交流の全体像を、寧波―博多間の海上貿易・外交関係・文化交流を基軸として包括的に解明する。

### 2. 研究の目的

寧波―博多間で行われた海上貿易・外交関係・文化交流・人とモノの移動などをひろく検討し、宋代～明代にいたる中国史、平安末～安土桃山期にいたる日本史の動向をふまえ、東アジア海域史全体のなかで寧波―博多関係を位置づけることをめざす。また中国史料・日本史料の双方を十分に調査・検討するとともに、考古学による出土資料も活用し、東アジア海域交流の実態を総合的に描き出すことを意図している。

### 3. 研究の方法

11～16世紀の寧波―博多関係に関する史料や研究文献の検討や現地調査など進めるとともに、その成果を研究会やシンポジウムの開催、国内・海外での学会報告などを通じて公開する。あわせて「東アジア海域史研究会」など、本特定領域の研究班とも連携した研究活動も積極的に行う。こうした研究の推進のため、中央大学非常勤講師の榎本渉・西南学院大学非常勤講師の久芳崇が研究協力者として、本研究班の活動に参加する。特に寧波・博多関係に関する中国・日本の文献史料・考古資料などを総合的に検討し、また現地調査や海外の研究者との学術交流などを通じて考察する。

### 4. 研究成果

本研究課題においては、特に主要な研究活用として、昨年1月に中国で開催した国際シンポジウムの論文集出版、研究協力者の榎本渉氏を中心とした「入宋僧・入元僧伝記史料集成」の編纂・刊行、および研究代表者の中島の監修による「日明関係研究文献目録」の編纂・作成などを行っていた。このうち国際シンポジウム論文集については、計画通り昨年11月に刊行することができた。

「入宋僧・入元僧伝記史料集成」についても、当初想定したよりも相当多数の関係史料、各地の機関で収集することができ、このためにその整理・解読・編集に当初予定よりも多くの時間を要することになり、今年4月以降までそうした作業を継続し、その上で印刷・刊行することが必要となった。さらに「日明関係研究文献目録」についても、当初予想よりも遙かに多くの研究文献が存在することが判明し、九州大学の大学院生を雇用してその収集・整理・コンピューター入力を行ってきた。

上記の作業を完成するため、本年度は経費のうち40万円を前年度から繰り越し、特に『寧波と博多』編集作業、「入宋僧・入元僧伝記史料集成」・「日明関係研究文献目録」の編纂・印刷・刊行のために用いた。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計6件)

① 中島楽章「銃筒から仏郎機銃へ―十四―十六世紀の東アジア海域と火器  
史淵 148, 2011, pp. 1-37, 査読無

② 中島楽章「ルーベンスの描いた朝鮮人―十六・十七世紀における東アジア人のディアスポラ―」

森平雅彦・岩崎義則・高山明倫編『東アジア世界の交流と変容』九州大学出版会, 2011, pp. 83-98, 査読無

③ 小畑弘己「近年の朝鮮半島における古民族植物学」  
季刊考古学 113, pp. 101-104, 2010, 査読有

④ 山内晋次「『香要抄』の宋海商史料をめぐって」  
アジア遊学 132, pp. 6 0-69, 2010, 査読無

⑤ 杉山清彦 「明代女真氏族から清代満洲旗人へ」

菊池俊彦編『北東アジアの歴史と文化』北海道大学出版会, 2010, pp. 457-476, 査読無

⑥ 杉山清彦 「女直＝満洲人の「くに」と「世界」——マンチュリアからみた「民族的世界」の姿——」

佐々木史郎・加藤雄三編『東アジアの民族的世界——近代以前における多文化的状況と相互認識』有志舎, 2011, pp. 147-177, 査読無

[学会発表] (計8件)

① Nakajima Gakusho, “Structure and Transformation of the Ming Tributary Trade System,” *Roundtable on The Nature of Political and Spiritual Relations among Asian Leaders and Polities from the 14<sup>th</sup> to the 18<sup>th</sup> Centuries*, Institute of Asian Research, University of British Columbia, Vancouver, Canada, 2010.4.21.

② 中島楽章 「明初徽州郷村社会的老人制度と糾紛処理」, “区域、跨区域と文化整合” 国際学術研討会, 山東省聊城市, 聊城大学東湖賓館, 2010年8月21日

③ 中島楽章 「国際学会・研究会の成果と課題」, 宋代史研究会シンポジウム「にんぷろの来し方と我々の行く末」, 東京都江東区, リフレフォーラム, 2010年8月28日

④ 中島楽章 「後期倭寇と欧式火縄銃的東伝」, 「東亜的思想と文化」国際学術研討会: 海洋文化, 台北市, 中央研究院人文館, 2010年9月29日

⑤ Nakajima Gakusho, “Controversies Concerning the Revival of Sino-Japanese Tributary Trade during the Japanese

Invasion of Korea,” *Workshop on Empires and Networks*; Institute of Southeast Asian Studies, Singapore, 2011.2.22.

⑥ 杉山清彦 「清初期対漢軍旗人“満洲化”方策」, 清代満漢関係史国際学術研討会: 北京市, 中国社会科学院近代史研究所, 2010年8月28日

⑦ 杉山清彦 「大清帝国史研究在日本」 「満学: 歴史と現状」 国際学術研討会: 北京市, 北京市社会科学院, 2010年8月30日

⑧ 杉山清彦 「清代の北京と紫禁城——武人と文人、旗人と民人——」 シンポジウム「歴史のなかの地図V 江戸城と江戸——市民社会と政治文化」 東京大学, 2010年9月11日

[図書] (計1件)

① 『明代郷村糾紛と秩序: 以徽州文書為中心』(郭万平・高飛訳), 江蘇人民出版社(鳳凰文庫・海外中国研究系列), 2010, 308pp

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

中島 楽章 (NAKAJIMA YOSHIAKI)  
九州大学・人文科学研究院・准教授  
研究者番号: 10332850

### (2) 研究分担者

佐伯 弘次 (SAEKI KOUJI)  
九州大学・人文科学研究院・教授  
研究者番号: 70167419

小畑 弘己 (OBATA HIROKI)  
熊本大学・文学部・准教授  
研究者番号: 80274679

山内 晋次 (YAMAUCHI SHINJI)  
神戸女子大学・文学部・准教授  
研究者番号: 20403024

杉山 清彦 (SUGIYAMA KIYOHICO)  
駒沢大学・文学部・准教授  
研究者番号：80379213